

# はちみ

<http://hacchi.jp>

vol.25

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…

「はっち」が贈る、おいしい情報。

ハチ立体絵巻

めくるめく色たちの祝宴

酔っ払いに愛を2016～横丁オンリーユーシアター～

支える人々・減じる人々

まちぐみ・はっち特派員だより・ものづくりスタジオ・こどもはっち

若者の活躍・毛皮と色

新店舗募集・お孫ちゃんとおしいちゃんとおはあちゃん

## hacchi event program

イベント情報

\*が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

「はっち市 2016」開催に伴い、11月17日(木)・21日(月)は臨時休館、18日(金)は12:00～20:00、19日(土)は10:00～18:00、20日(日)は10:00～17:00と、開館時間を変更となります。

\*■酔っ払いに愛を 2016  
～横丁オンリーユーシアター～

10月 7日(金)～9日(日) 18:00～21:00

八戸市中心街の横丁が劇場に変わる 3 日間。お酒を片手にダンスや芝居、コントなど、パフォーマンスをお楽しみあれ。

■サンティアゴ巡礼 旅と人と花たち

10月15日(土)～16日(日) 15日 9:00～18:00  
16日 9:00～17:00

種差の植物研究で知られる八戸市文化財審議委員・高橋晃さんが歩いてきたスペイン巡礼の道 1,100km。その自然と人々の暮らし、出会った美しい花たちを写真と解説で紹介。15日 14:00～、16日 10:00～ギャラリートークも開催します。  
問合せ：北奥羽自然史研究所(高橋) 090-4043-8387

\*■第五回 はちの演劇祭  
「半朗読劇 てくてく」

11月10日(木)～13日(日)

開演：10日(木)・11日(金)19:00  
12日(土) ①14:00 ②18:00  
13日(日) ①11:00 ②15:00 ※各回 30 分前開場  
料金：前売 一般 1,000 円、大学生以下 500 円  
(当日 一般 1,500 円、大学生以下 700 円)  
※未就学児入場不可/入場時学生証提示  
はっちインフォメーションの前売のみ団体割あり

\*■はっち市 2016  
～はっちがちっちゃな街になる～

11月18日(金)～20日(日)

18日 12:00～20:00 19日 10:00～18:00  
20日 10:00～17:00  
全国から 70 組のクラフト作家が出店。展示とおいしいフードも楽しめる屋内開催最大クラフト市。19 日 18:30 からのライブには、青葉市子が登場！

■VIVACE 2016  
クリスマスギフトショップ

11月23日(水・祝)～24日(木)

23日 10:00～18:00 24日 10:00～16:00  
スタンドグラスや雑貨の展示販売と、ワークショップを開催。  
体験料：万華鏡作り 7,000 円(定員 15 名・予約優先)  
ポーセラーツ作り 2,000 円(予約不要)  
申込締切：11月17日(木) ※万華鏡作りのみ  
問合せ：スタンドグラスラボ VIVACE(伊勢) 090-6450-7966

\*■はっちのクリスマス

11月26日(土)～12月25日(日)

コンサートや料理教室等、さまざまなイベントがクリスマスを彩ります。12月1日(木)にはクリスマスツリー点灯式を開催！

■シロクマボーダーライン +αシアター

11月27日(日)

①13:30～15:00 ②17:00～18:30 ※各回 30 分前開場  
コミュニティラジオ局 BeFM パーソナリティの特別ユニットが、日常ありえないコントから、何か見たことあるコントまで、ゆるゆるコントを繰り広げます。  
料金：前売 1,500 円 ※当日 2,000 円  
問い合わせ：大地球 shirokuma.bod@gmail.com

\*■第四回 南部弁の日「はっちがずっぱど南部弁」

12月3日(土)～4日(日)

3日は砥谷伸夫氏と語り部のみなさんによる、南部弁サミットを開催し、方言の魅力等を紹介。4日は十日市秀悦氏による、思いっきり感動ライブを開催！

\*■はっちのお正月

1月2日(月・休) 11:00～15:30

八戸東高校書道ガールズによる書道パフォーマンスや法霊神楽の一斉歯打ちなど、楽しい企画が盛りだくさん。

\*■ストリート投げ銭ライブ in はっち

10月12日(水)桜花(ヨガ)

10月26日(水)星川七恵(ギター)

11月9日(水)ニコニコ(フォーク)

12月28日(水)出演者未定

開演 19:00 ※各回 30 分前開場  
問い合わせ：たまに庵のーぼ 0178-43-3937

\*■和日カフェ ～日本文化に親しむ日～

10月16日(日)・11月13日(日)

12月18日(日)

10月～12月は、毎月のお茶席とあわせて、11月は折り紙ワークショップ、10月、12月にはいけばな体験を開催。

## information

市内施設情報

八戸市美術館

■世界が絶賛した浮世絵師  
「北斎展一 師と弟子たち」

10/1(土)～11/6(日)

「富嶽三十六景」をはじめとする多様な作品から北斎の人気の秘密に迫ります。国際浮世絵学会常任理事の中右さんの講演会(10/1)や「まちなか探検！北斎さがし(三十六種)」なども開催。



富嶽三十六景 凱風快晴

① 9:00～17:00(受付は16:30まで)

② 10月11日・17日・24日・31日

☎ 0178-45-8338

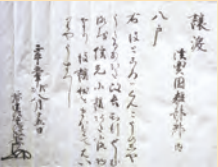
📍 <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>

八戸市博物館

■秋季特別展「根城のお殿様の手紙」

10/8(土)～11/13(日)

国指定重要文化財である「南部家文書」の影写本をお披露目。同時に、日本百名城選定 10 周年として、史跡「根城」についてパネルで紹介。会期初日の 10 月 8 日は「史跡根城まつり」も開催。



南部政長様状

① 9:00～17:00(入館は16:30まで)

② 10月11日・17日・24日・31日・11月4日

☎ 0178-44-8111

📍 <http://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■秋季企画展「馬淵川流域の縄文時代」

10/8(土)～11/20(日)

食料資源が豊富で早くから縄文人が住み、文化の先進地となっていた馬淵川流域。出土品からこの地域に広がった縄文文化を紹介。

11 月 5 日には、御所野縄文博物館館長の高田和徳さんの考古学講座を開催。



三戸町八日町遺跡出土  
「透光器土偶」  
縄文時代晩期 奥重宝

① 9:00～17:00(受付は16:30まで)

② 10月11日・17日・24日・31日・11月4日・14日

☎ 0178-38-9511

📍 <http://www.korekawa-jomon.jp/>

## hacchi news

はっちニュース

■来館者 500 万人達成

6 月 28 日(火)、はっちの来館者が 500 万人に到達しました。500 万人目のお客様は仕事に活かす資格取得のために、はっちで勉強をしているという市内在住の女性です。記念のセレモニーでは市長から花束と記念品を贈呈しました。

1 年間に約 100 万人もの来館者があるはっち。600 万人目の来館者は、あなたかもしれませんよ。

〈はっち情報発信中!!〉

<https://www.facebook.com/hacchi8>

[https://twitter.com/hacchi\\_staff](https://twitter.com/hacchi_staff)



iPhone 無料アプリ  
i8nohe(あい・はちのへ)

その他各社新聞、コミュニティラジオ局 BeFM  
でも情報発信中です。

## street event

まちなか情報

■今年オープン予定「八戸ブックセンター」のスタッフをご紹介します！

「本のまち八戸」を推進する八戸市が今年開設予定の「八戸ブックセンター」。本との偶然の出会いが生まれる場づくりを目指して、現在準備を進めています。

施設準備～企画運営の中心となるのは、3 名の専門スタッフで、それぞれ人文書や児童書のコンシェルジュ、フリーペーパー編集などの経験者です。



市民の皆さんが本にもっと楽しむためのお手伝いができるよう、本に関することのプロフェッショナルが、奮闘中です。どうぞご期待ください。



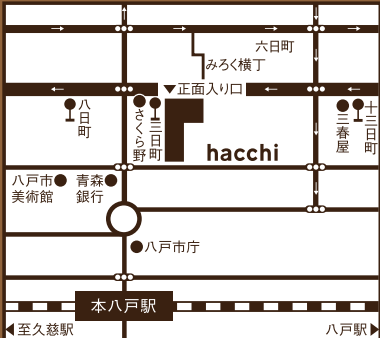
八戸ポータルミュージアム「はっち」は地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアム はっち <http://hacchi.jp>  
TEL 0178-22-8228 FAX 0178-22-8808

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1  
開館時間/9:00～21:00 ※こどもはっち 9:30～16:30  
休 館 日/毎月第 2 火曜日(祝日の場合その翌日)、12月31日及び 1 月 1 日

はっちリレーションナルプレス「はちみつ」vol.25  
発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ観光部 八戸ポータルミュージアム 発行月：平成 28 年 9 月  
表紙協力：工房「道」

【交通のご案内】  
バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]  
八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ  
ＪＲ／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約10分]  
航空機／三沢空港から八戸市内シャトルバス[約55分]  
フェリー／八戸港フェリーターミナルから車[約15分]  
車／八戸駅から車[約20分]  
※一般来館者の駐車場はございません。  
お近くの有料駐車場をご利用ください。



印刷部数 15,000 部 印刷経費 1 部あたり 30.78 円



# めくるめく色たちの祝祭



長い間誰かが使い続けた古布を裂いて糸にし、布を織る。人生の時間の瀬が染み込んだ古布には、染めたての布の鮮やかな美しさとは異なる、他者の人生を想わずにいられない深い奥行きが美しさがあります。

古布を使うがゆえに、思いもかけない意外な色の組み合わせが生まれ、二度と同じ色合にはなりません。偶然の出会いを楽しめるかどうか、織る人の遊び心が試される織物のようでもあります。

八戸には、南部裂織のように多様な色彩が洪水のようにまちにあふれる季節があります。それは八戸三社大祭のとき。

八戸三社大祭を追いかけた今夏の記憶には、鮮烈な色たちが渦巻いています。ありえないくらいキッチュな山車の色使いは、雑多な日常に追われ想像の翼が縮こまった私の心を、力業でファンタジーの世界にかつさつていきました。これぞ「祭り」です。これほど非常識な色合わせがあるだろうかと思えるような色と色とがぶつかりながら、なぜか奇妙な調和を醸し出すのです。八戸人の心の奥底には、自由で広大なイマジネーションの宇宙がひそかに存在しているにちがいないと。対照的な色も見つけました。祭りを支える人々が羽織る祭り神楽や浴衣の古式ゆかしいシックな色、決して表に出ることなく炊き出しに似る女性たちが心をこめて握る白むすびの清々しい色、長きにわたり代々炊き出しに使ってきたお櫃やつやつとした板重の使い込まれたやさしい木の色、キュウリ漬けの目の覚めるような緑色。この誠実でやさしい色こそ、八戸の人々の日々の暮らしそのものです。

なかなか普段は見えないけれど、南部裂織や祭りの色は、八戸人の心に静かに燃えている情熱の光彩を私たちに見せてくれるのです。



はっち文化創造事業  
アドバイザー  
吉川由美



色が織りなす物語

「自分の人生を色で例えると、情熱の赤」夫の介護で大変なときも、家業を一人で背負ったときも裂織をやめなかった。

裂織を始めて45年、ひたすら古布を裂き、織り続けた。布が相手だから思うようにいかないことが多い。

でも織るたびに表情が違って面白い。布の色だけでなく、縦糸の色も重要だ。縦糸と横糸が絡み合って初めてひとつの色になる。

同じものは一つとしてない、裂織の魅力。

色使いを教わったことはない。法則もない。

それでも柄の出方を計算しながらひたすら織り進む。

暖色系の古布で織ると、自然に夕焼け色になっていく。

「好きな色も赤。夕焼けの赤」

裂織が自分を支えてくれている。「私は幸せ」

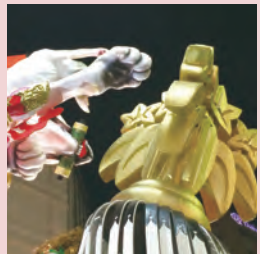
## 八戸立体絵巻プロジェクトはじまります！

八戸人の卓越した造形技術と物語を描く力が遺憾なく発揮される場。それは、八戸三社大祭でしよう。引き回される絢爛豪華な附祭の山車の造形は圧倒的です。限られた面積の台車の上に、風景や動物、そして人間たちが、生き生きと大胆な動きで盛り込まれ、マが語られます。生きものの動きや豊かな表情が、人間の心の中に棲む悪や醜さ、滑稽さを鏡のように映し出します。ドラマティックな一瞬を瞬間冷凍したようなフアンタジックな空間構成に、思わず見入る者が引き込まれてしまうのです。

これらの彫刻群を制作しているのは八戸市民。仕事を終えて山車小屋に駆けつけた人々が、夜な夜な巨大な造形にこつこつと取り組んでいます。山車を形作るひとつひとつの造形物の巧みさは、驚異的です。



そんな大スケールの創造活動が、毎年27もの組で行われているのですから、すごいことです。たくさんの人々の心意気と献身により支えられている、かけがえのないまちの宝物であり文化そのものです。



はっちでは、この八戸が誇る山車組の造形と感性に、アーティスティックな視点から光を当てるプロジェクトを始める



題材となるエピソードを紡ぎ出すのは、すでに活動をはじめた市民ライター集団「はちのハスケエターズ」。



「これから半年かけて、さまざまな八戸の物語を取材し、文章化します。協働するのは住中浩史さんをはじめとした現代美術家たち。彼らが触媒となつて、八戸市民のアイデンティティを美的に可視化していきます。」

このプロジェクトを「八戸立体絵巻」と呼ぶことにしました。

プロジェクトのゴールは東京オリンピックが開催される2020年。

4年の月日をかけて、世界の人たちを八戸に呼び込める、八戸市民総参加の文化プロジェクトを目指します。

・インスタレーション  
空間や屋外にオブジェや装置を置いて、空間を変化・異化させ、場所や空間自体を作品として体験させる芸術。

## 八戸三社大祭体験してみよう！



美術家  
住中浩史

6月から27の山車小屋すべてに2回以上訪れて制作を見学させていただきました。忙しい中に対応していただきありがとうございます。

現場で驚いたのはとにかく市民の姿。会社員の人から幼稚園の先生、おじいちゃんからお母さん、子どもたちと多種多様な人々による山車造り。日本各地を仕事で回りますが、こんなにクリエイティブな市民の姿は初めてです。

制作過程を見ていたもので、前夜祭では本当に感動しました。山車行事をユネスコに登録とのことですが、三社大祭は連日だけでなく、山車制作の文化も世界に伝えたいと強く思っています。

はちのハスケエターズ

八戸の人びとの88ストーリーを掘り起こし中！

活動に参加したい方はお気軽にお問い合わせください！

南部裂織作家 井上澄子さん







